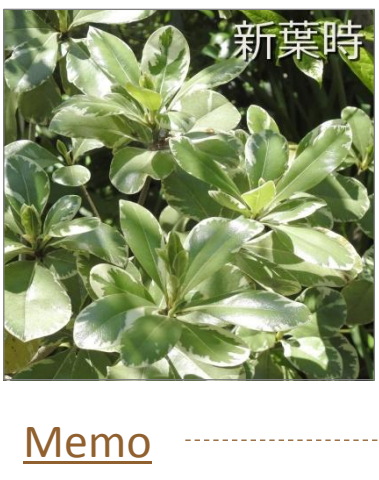
トベラ（園芸品種）

常緑／低木／木本植物／園芸品種

科　名　トベラ科（APGⅢ）

特　記　生長：やや遅い、雌雄異株

トベラの斑入り品種。斑が入ることで爽やかな感じになった。４～６月頃、白い花を咲かせる。花の香りはよいが枝葉に臭気がある。原種は海岸に自生する潮害に強い常緑低木。都市の日照りや乾燥など過酷な環境にも適応する。フイリヒメマサキは小型で葉先が尖る園芸品種。



Memo

トベラの語源は扉、トビラノキとも呼ばれる。
学名Pittosporum tobiraにも反映されている。

お手入れカレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花　期				■	■	■						
果　実									■	■	■	■
紅　葉												
施　肥	■	■	（痩せ地でなければ不要）									
剪　定	■	■										

好みの環境					
日当り	陽	○	○		陰
土　壌	乾	○	○	○	湿
寒　さ	強		○		弱
暑　さ	強	○			弱
潮　風	強	◎			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○	○			○	

ポイント

放任していてもこんもりとまとまる。萌芽力が弱いので放任した方がよいほど。秋になると雌株では種子が朱色に成熟し、野鳥の好餌となる。整姿は実が落ちた後にしたい。

剪　定

萌芽力が低く、生長も比較的遅い。添景や寄せ植えにできるが、葉は丸味があり刈り込みには向かない。徒長枝の切り戻しや枝抜をしてこんもりとした樹形にまとめる程度がよい。

病虫害

カイガラムシやトベラキジラミが発生すると、その排泄物に「すす病(カビの一種)」が誘発され葉の表面が煤で汚れたようになる。加害虫とカビ両方併せて駆除する。

SEKISUI HOUSE

COPYRIGHT©SEKISUI HOUSE,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.